

令和 6 年度 学校教育目標 思いやりの心もち すすんで学び たくましく生きる子どもの育成

本年度の重点			7月末 中間評価①	12月末 中間評価②	年度末評価	
重点目標 及び 指標		重点的取組	取組状況(○成果 ◆課題と改善点)	取組状況(○成果 ◆課題と改善点)	評価	○成果 ◆次年度に向けた方向性・改善点
子どもの学び に関する こと	重点目標	考えを表現できる子どもの育成	○「自分の考えを表現する5つのポイント」を全教職員で共有し、授業を互いに参観する環境づくりをする。 ○自分の考えを表現する時間を確保する。(ノートに書く、タブレットに入力する等) ○児童が互いの考えを共有するためのツールとしてICTを活用できるよう、職員研修を設定する。			
	指標	<学校生活アンケート> ◆「自分の考えをノートに書いたりタブレットに入力したりして、周りの人に伝えることができた」について、肯定的な回答をした児童の割合【90%】				
子どもの心の育ち に関する こと	重点目標	思いやりのある言動ができる子どもの育成	○挨拶のスローガン「こえだあつし」の定着を図る取組として、計画委員会を中心に放送等での呼びかけを行う。 ○月に2回、朝に計画委員会が門に立ち、挨拶をする挨拶運動を実施する。また、各クラスから代表を決めて、委員会児童と一緒に挨拶運動に参加する取組の回数を増やす。(昨年度は3学期に1回のみ実施)			
	指標	<学校生活アンケート> ◆「自分も相手も気持ちよくなるあいさつができた」について、肯定的な回答をした児童の割合【90%】				
子どもの体力 に関する こと	重点目標	日常的に運動に親しむ子どもの育成	○上津役小学校の運動実践プログラムを全教職員で共有し、実践を行っていく。 (ジャンプアップ運動、ボディバランス運動等を、毎時間の体育の準備運動後、3～5分で実施する。) ○体力向上につなげるための職員研修の実施、体力向上期間の設定(前期:スポーツテスト前、後期:未定)			
	指標	<学校生活アンケート> ◆「自分の体力が向上していると思う」について、肯定的な回答をした児童の割合【90%】				
小中一貫教育 に関する こと	重点目標	中学校生活に希望をもって過ごす子どもの育成	○【小中連携】中学校の行事を参観(6年:体育大会の予行練習、5年:文化発表会) ○【小中連携】中学校から小学校への出張授業(音楽…卒業式の歌の練習 家庭科…調理実習またはミシン) ○【小小連携】大原小学校児童との交流(6年:オンライン) お互いのことを紹介できるような取組を実施予定 ○【3校合同】合同地域清掃(中1と小6)			
	指標	<学校生活アンケート> ◆「中学生になることが楽しみだ」について、肯定的な回答をした児童の割合【90%】 ※5・6年生対象				
業務改善 に関する こと	重点目標	働きやすい職場づくり	○授業時数の見直し及び削減(2～6年生の週あたりの授業時数を1減らす。) ○毎月末金曜日を職員研修日に設定(全校児童を給食後の下校にすることで、職員がゆとりをもって業務を行えるようにする。)			
	指標	<学校評価アンケート> ◆一か月の時間外勤務が45時間以下の職員の割合【100%】				